

塾生募集

オープンイノベーション ナノセルロース塾

第7期(2024年度)

ナノセルロース塾は、これまで延べ600名が受講し、充実した講義と異分野とのネットワーク形成に好評を得ております。
第7期も多彩な講師陣にて新たな事業展開を支援します。

期 間

令和6年6月～令和6年12月 (全6回 土曜日開講)

受講方法

会場 [京都大学宇治キャンパス
京都市産業技術研究所 (ほか)] 又は オンライン (Zoom)

*会場又はオンラインでの受講のいずれかを毎回選択できます。

定 員

100名

受講料

20,000円 (税込・6回分一括) *申込受付後に振込先を連絡いたします。

ナノセルロースジャパン・一般会員は無料

*第7期は、講義資料は冊子として印刷せず、Web配信のみとなります。

申込期限

随時受付中

申込方法

下記 URL にて必要事項を記載のうえ、お申し込みください。

申 込 先 : <https://form.run/@Kw5puQLPt6XMZ442mKxn>



*各回、受講者を変更することは可能です。

*申込みに当たっては、4ページ目に記載している備考もご確認ください。

“ナノセルロース塾” 開講宣言

(2018年6月)

塾長 京都大学客員教授 渡邊 政嘉
副塾長 京都大学特定准教授 吉田 朋央
顧問 京都大学教授 矢野 浩之
(ナノセルロースジャパン技術・普及分科会長)

セルロースナノファイバー(CNF)に関わる研究開発活動は、国内外で盛んに進められています。激化する国際競争の中で我が国のCNF関連企業がフロントランナーとして主導的なポジションを獲得するためには、企業内部での自前開発だけに頼っているだけでは限界があり、戦略的に社内の強みを生かしながら、外部の資源を積極的に取り込む活動が必要不可欠となっています。

新たな市場を開拓するためには従来技術の延長線上の発想を超えて、異なる技術分野との融合によって生み出される新たな価値創造活動が原動力となります。

しかしながら、異なる技術や事業分野とのネットワーク形成は必ずしも簡単ではなく、困難を伴います。そこで新たにCNF関連企業がオープンイノベーション活動を円滑に進める場づくりとなる活動としてオープンイノベーション“ナノセルロース塾”を開講します。

具体的にはCNF以外の異分野技術に関する専門家を招聘し、異なる技術領域との融合や複合によりCNFの新たな活用に関するヒントを得るとともに、将来の共同研究開発等のシーズ開拓やマーケット開拓のヒントを得る場を設けます。

*“ナノセルロース塾”は、CNF技術に関心を持ち新たな用途開発や市場開拓を検討している技術者、研究者、技術営業担当者、マーケティングリサーチャー及びコンサルタントなどの方を対象とします。

講義内容

No	開講日 会場(予定)	講師(プロフィールは後述参照/敬称略)	テーマ
1	6月22日(土) 京都大学宇治キャンパス	渡邊 政嘉(塾長) 京都大学特任教授 桑島修一郎(副塾長) 京都大学特定教授	オープンイノベーションの基礎
2	7月20日(土) 京都市産業技術研究所	矢野 浩之 京都大学特任教授 後藤 文男 SOLIZE(株)	CNF/材料の基礎
3	9月21日(土) *1 京都大学宇治キャンパス	荒木 潤 信州大学教授 岡久 陽子 京都工芸繊維大学准教授	CNC/バイオ系ナノ材料
4	10月19日(土) 京都市産業技術研究所	八尾 滋 福岡大学特任教授 上谷幸治郎 東京理科大学准教授	CNFの適用可能性
5	11月16日(土) *2 産業技術総合研究所中国センター	榊原 圭太 産業技術総合研究所 春日 貴章 大阪大学産業科学研究所助教	CNFとものづくり
6	12月14日(土) 京都大学宇治キャンパス	小林 満 王子ホールディングス(株) 山岸 健 (株)LCAエキスパートセンター	CNFの社会実装とLCA

- 開講時間 13:30~17:20 毎回、ネットワーキングと講義を開催します。
 - 毎回、会場又はオンラインでの受講を選択することができます。受講生の交代も可能です。
 - 17:20以降、会場にて交流会(実費負担:500円程度)を予定しております。(第5回は前日に別途予定)
 - *1:第3回は、ナノセルロース塾第1~6期受講者とのネットワークを広げるため、同窓会を同時開催します。
 - *2:第5回は、産総研中国センター(広島県東広島市鏡山3-11-32)との連携事業を予定しております。
- 前日15日午後は施設見学会・交流会、当日16日午前にはポスターセッションも企画しております。

予告

9月からナノセルロース・実習コースを実施! 詳細は後日ご案内

- 実施機関
- ・東京大学・静岡県富士工業技術支援センター(共催:富士市)
 - ・静岡大学・静岡県工業技術研究所(共催:富士市)
 - ・京都大学・京都市産業技術研究所
 - ・産業技術総合研究所



渡邊 政嘉

京都大学特任教授・学外連携フェロー（一財 高度技術社会推進協会・常務理事）。経産省産総研室長、紙業服飾品課長、産業技術政策課長、NEDO 理事、中小企業庁経営支援部長、経産省東北経済産業局長、内閣審議官を歴任し、令和 4 年 7 月退官。研究所経営（オープンイノベーションノブ戦略）に関する研究、セルロースナノファイバーの産業利用に関する研究等、多数実施。紙業服飾品課長時代に世界に先駆けナノセルロース社会実装に向けたナノセルロースフォーラムの設立をリード。受賞歴：型技術協会創立 30 周年「功労者賞」、日本機械学会フェロー、同会創立 120 周年記念功労者表彰など。博士（工学）



桑島 修一郎

京大大学生存圏研究所生存圏未来開拓研究センター長。2000 年九州大学大学院理学研究科博士後期課程修了。京都大学大学院工学研究科科学技術振興助教、講師を経て、2009 年京都大学産官学連携センター准教授。2010 年より経済産業省産業技術環境局技術戦略政策官としてイノベーション政策に従事。2013 年から京都大学産官学連携本部特任教授として産官学連携支援を担当、2023 年 4 月より現職。研究・イノベーション学会理事。博士（理学）



矢野 浩之

京大大学生存圏研究所特任教授。京都府立大学林学科助手、同講師、京都大学木質科学研究所助教授、生存圏研究所教授を経て 2024 年より現職。セルロースナノファイバー材料の開発によりセルロース学会林治助賞、日本木材学会賞を、パルプ直接混練法“京都プロセス”の開発により本田賞、TAPPI ナノテクノロジー部門賞、科学技術分野の文部科学大臣表彰をそれぞれ受賞。渡邊課長（当時）、磯貝教授と連携してナノセルロースフォーラムの設立、運営に貢献。ナノセルロースジャパン副会長。農学博士



後藤 文男

1993 年（株）INCS 入社（現 SOLIZE 株）。3D プリント装置を用いた製品販売業務担当、2008～2012 年 3D プリント装置販売事業担当、2013～2019 年 SOLIZE Products（株）代表取締役社長、2020～2023 年 3D プリント技術を用いた量産部品製作事業に従事し 2023 年国内初自動車用量産部品採用を行う。2024 年より 3D プリント用材料開発業務に従事



荒木 潤

信州大学繊維学部教授。2001 年東京大学農学生命科学研究科博士課程修了。JST-CREST 研究員、アドバンスト・ソフトマテリアルズ技術顧問などを経て、2007 年信州大学国際ファイバー工学研究拠点テニュアトラック助教、2012 年信州大学繊維学部准教授、2021 年より現職。2022 年より NEDO「炭素循環社会に貢献するセルロースナノファイバー関連技術開発」サブプロジェクトリーダー。2015 年セルロース学会奨励賞、2021 年高分子学会パブリシティ賞受賞。博士（農学）



岡久 陽子

京都工芸繊維大学繊維学系准教授・繊維科学センター副センター長。2007 年京都大学農学研究科博士後期課程修了、京都大学産官学連携センター研究員、日本学術振興会特別研究員 PD、日本学術振興会海外特別研究員、日本学術振興会特別研究員 RPD を経て、2016 年京都工芸繊維大学テニュアトラック助教、2021 年より現職。2020 年繊維学会奨励賞。竹材やその他の大型草本植物由来のセルロースナノファイバー材料研究に従事、近年ではセルロースナノファイバー製造手法をシルクへ応用したフィブロインナノファイバーの開発を実施している。博士（農学）



八尾 滋

福岡大学研究推進部特任教授。1981 年京都大学工学部高分子化学科卒、1986 年京都大学工学研究科高分子化学博士後期単位修得満期退学、1988 年工学博士（京都大学）1986 年宇部興産（株）入社、1999 年同社高分子基礎研究部部長、2007 年（株）三菱総合研究所入社。2011 年福岡大学工学部化学システム工学科教授。2016 年機能・構造マテリアル研究所所長、2018 年産官学連携センター長。2023 年現職。



上谷 幸治郎

東京理科大学工学部工業化学科准教授。2013年京都大学大学院農学研究科博士後期課程修了。技術研究組合単層CNT融合新材料研究開発機構(TASC)研究員、立教大学理学部化学科助教、大阪大学産業科学研究所助教を経て、2022年に東京理科大学工学部工業化学科講師に着任、2024年より現職。CNF材料の熱伝導性解析や放熱材料開発など新機能・新材料の開拓研究を精力的に推進。セルロース学会奨励賞、安藤博記念学術奨励賞、関西繊維科学奨励賞などを受賞。博士(農学)



榎原 圭太

(国研)産業技術総合研究所 機能化学研究部門 セルロース材料グループ 研究グループ長。2003年京都大学農学部卒、2008年同大学大学院農学研究科博士後期課程修了 博士(農学)取得。オーストリアBOKU、物材機構での博士研究員を経て、2011年京都大学化学研究所助教。2020年4月に産業技術総合研究所入所、2022年11月より現職。専門はセルロース化学、木材化学、高分子材料設計化学。主な受賞歴に、2016年繊維学会奨励賞、2019年セルロース学会奨励賞など。



春日 貴章

大阪大学産業科学研究所助教。2017年香川高等専門学校電子情報通信工学専攻修了。2022年大阪大学工学研究科博士後期課程を修了、博士号取得(工学)。2022年4月より現職。セルロースナノファイバーの電気的な応用に関する研究に従事。近年の研究成果としては、土に還る分解性センサデバイス及び電着による高次構造制御など。主な受賞歴に、2017年独立行政法人国立高等専門学校機構理事長特別表彰、2021年紙パルプ研究発表会最優秀発表賞など



小林 満

1992年王子製紙(現王子ホールディングス)株式会社入社。感熱紙、ノーカーボン紙、インクジェット用紙の開発に従事。
2010年 Oji Paper Thailand の品質管理部長および開発部長
2015年セルロースナノファイバーの開発担当
2022年 CNF 創造センター長



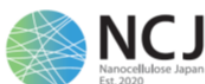
山岸 健

株式会社 LCA エキスパートセンター(LEC)取締役。2008年よりライフサイクルアセスメント(LCA)業務に従事。一般社団法人産業環境管理協会(JEMAI)、一般社団法人サステナブル経営推進機構(SuMPO)を経て、2024年4月より現職。LCAソフトウェアMiLCA(みるか)開発や民間企業のLCAコンサルティング業務を多数実施。セルロースナノファイバー(CNF)等の次世代素材活用推進事業(2020年度 環境省)やナノセルロースヴィークル事業(2016-2019年度 環境省)において、CO2削減効果の評価・実証を担当。

備考

- 受講者の交流が促進できるよう、ネットワーキングにおいて、自社アピールなど実施していただきます。
- 講義資料を専用サイトにて配信いたします。第7期は、冊子印刷は行いません。
- 現地参加の場合、交通費、宿泊費、交流会費等は受講者にてご負担ください。
- オンライン配信にて参加いただく環境は、受講者側でご準備ください。また、インターネット回線の通信状況等により、良好に聴講できない可能性がございます。
- 新型コロナウイルスの感染拡大などの状況に応じて、やむを得ず内容を変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。

お問い合わせ先



ナノセルロースジャパン ナノセルロース塾担当
E-mail open-innovation@nanocellulosejapan.org